

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	歩楽里			
○保護者評価実施期間	令和7年3月1日 ～ 令和7年3月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28人 (登録家庭数)	(回答者数)	22人
○従業者評価実施期間	令和7年3月1日 ～ 令和7年3月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年4月1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもたちの活動等のスペースが十分に確保されている。	ある程度の広さのある部屋から個室、調理活動が実施できる食堂、リラックススペースとして活用できる量の部屋など、活動や用途によって使い分けができる部屋数があります。また、障がい特性などその時のお子さんの状況によって過ごす場所を提供することができます。	必要な機器やアイテムの補充を行い、活動以外のリラックスの時間の充実を図ります。
2	年齢に応じた活動内容の提供をしている。	小学生と高校生で活動内容や活動部屋を分け、年齢に応じた活動内容の提供を行っています。 小学生は「心と身体の成長」を目的としてさまざまな活動内容を設定しています。 中高生は「大人になる準備として社会性などを学ぶ」を目的として楽しみながら活動できるよう内容を設定しています。	集団の活動の他、個別の支援として自由時間を活用した「一人で安全に過ごす」ための余暇支援等の充実を図ります。
3	長期休みや休日の余暇支援の実施。	長期休みや休日は外出を中心とした余暇支援を実施しています。公共施設余暇施設の利用や公共交通機関を利用した外出、飲食店での外食、買い出しから行う調理活動などを行っています。楽しみながら平日は行えないような活動を経験するよい機会となっています。	利用者主導型での外出企画などを取り入れ、自己選択・自己決定の機会を作り、お子さんが自主的に行動できるよう支援を行います。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会が少ない。	地域の小学校からの利用者も少なく、地域の小学校や児童館等との関わりが少ないです。また、地域住民の方との関わりもあいさつをする程度の関わりになっている現状があります。	長期休み等に地域のお子さんと一緒に参加できるレクリエーションの企画や地域住民の方も参加できる行事の開催を検討します。
2	保護者同士、きょうだい同士の交流の機会が少ない。	年に1回～2回程度、きょうだいを含むご家族参加型の行事を行ってきましたが、ご家族やきょうだい同士の交流を目的とした内容に特化していないため、参加者も固定化されている現状があります。また、きょうだいの方の参加率は少ない現状があります。	利用者家族の皆様よりご意見をお伺いしながら保護者、きょうだい同士が交流できる内容の行事や交流会等の企画を検討します。
3	非常時マニュアルの周知・説明が不足している。	各種マニュアルについて策定はされていますが、保護者の方への周知・説明が不十分な現状があります。	面談などで緊急時・非常時についての説明及びマニュアルの周知・説明を行い改善を図ります。 また、ホームページ等を活用しいつでも確認ができるようにしていきます。